

次世代育成アカデミー 活動内容

【次世代育成アカデミーとは】

社会状況が急速に変化する中で、持続可能な行政に求められる職員を育成することを目的に、本市の現状・課題に関する高度で実態に即した知識、見識を習得するとともに、地方の在り方、経営的視点を教師陣による講義やゼミ活動を通じて学ぶことで「気づき」と「意識改革」、更に「職員間のつながり」の強化、「行動の変革」を促す研修です。

【平成30年度の活動内容】

1 大学教授等3人による特別講義

- (1) 人口減少・高齢・情報社会の自治体政策（東海大学教授：小林隆氏）
- (2) 秦野の現状と課題（帝京大学教授：茅野英一氏）
- (3) “協働まちづくり実践”と“職員力育成”（産業能率大学講師：斉藤進氏）



東海大学 小林先生の講義



産業能率大学 斉藤先生の講義



帝京大学 茅野先生の講義

2 庁内講師による特別講義

- (1) 秦野名水の保全と利活用について（環境保全課：谷課長）
- (2) 公共施設の再配置について（公共施設マネジメント課：志村課長）

3 オープン研修

- (1) 産・学・官による合同ワークショップ（中栄信用金庫若手職員、東海大学生、市役所とのワークショップ）
 - ア テーマ：本市の現状と課題について
 - イ テーマ：今後、必要な取り組みについて



東海大学小林先生による基調講演



合同ワークショップの様子

- (2) SIM熊本2030（対話型自治体経営シミュレーションゲーム）

「2030年」の未来を仮想し、受講生及び公募職員が市の幹部となり、今後、自治体が直面するさまざまな課題について、対話の中で解決策・方向性を導き出し、新しい都市を創造していく自治体経営のシミュレーションゲーム。



熊本県庁職員による自治体経営ゲーム



作り上げた街の査定を受ける受講生

4 ゼミ活動（3グループ）

- (1) 本市における課題について、実現に向けた工程や、課題への対応方法、実現の効果等を十分に検証するため、ゼミ活動を開始。
- (2) 中間発表（ゼミ活動で研究した内容について、中間発表）
- (3) 公共政策フォーラム（東海大学の講義の一環で、学生を前に研究内容を発表）

5 政策提言発表会

ゼミ活動において、中間発表、公共政策フォーラムを経て得られた新たな課題などについて修正を行い、当日に臨みました。

日時：平成31年2月15日（金）午後6時から2時間程度

場所：秦野市文化会館 小ホール

- (1) 【空き家クライシス～空き家予備軍へのアプローチ～】
- (2) 【～若者よ！秦野に住み続けよう～『Iターン大作戦』】
- (3) 【森で遊び、森を育てる North Forest PARK】



受講生による政策提言



先生方による講評